

もくじ

- 2-3 プロローグ
- 4-7 特集～ゆとりある農業をめざして～
- 8-9 風立ちぬ～農業関係施設～
- 10-11 風探県記～1日ゴミ処理体験～
- 12-13 風彩～原賀隆一さん～
- 14-15 一章一景～阿蘇・雲海～
- 16-17 新・熊本散歩～阿蘇～
- 18-19 風の伝 くまもと北から南から
- 20-21 まんが～国際竹とんぼ協会～
- 22-23 新しい風
- 24-25 熊本かわら版
- 26 地球家族～韓国4Hクラブ民泊農業研修～
- 27 風的美術館～「蚊帳脇美人図」竹田春信作～

編集雑感

▶ 最近は車でテントのすぐそばまで行けるオートキャンプ場ができていますので、家族や仲間同志で気軽に自然に触れてみたい。

しかし、楽しんだ後、必ずと言っていいほどゴミがゴミ。あたりまえのことではあるが、ゴミをできるだけ出さない、出しても必ず持ち帰るようにしたいものである。(公)

▶ 夏は、少年のころからの一番好きな季節。その頃の楽しい思い出が忘れられないのか、今でも「好きな季節は」と問われると「夏」と答える。

原賀さんの本を見て、子どもの頃遊んだ緑川を思い出した。夏休みは毎日泳いだり、魚取りをして過ごした。あの頃は時間がゆったりと流れていたようだ。(透)

表紙のことば

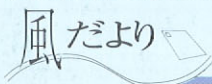
「限りなく透明に近いブルー」とはこういう海の色をいうのか。地平線では海と空が一つに溶け合っている。「妙見浦」とはここにピッカリ^{ピカ}の名前。真夏の太陽がカンカンと照りつける中、妙なる眺めに暑さを忘れて見とれてしまった。今回は嘘を誠に取り替えるという鳥「鶯」の木彫りと組み合わせた。

宮井正樹

愛読者募集

県では、県広報誌(くまとの風)の愛読者を募集しています。「くまとの風」は、くまとの新しい動きやユニークな人、県下各地の催物などを、写真やイラストを織り混ぜてお届けする広報誌です。あなたも、この機会に「くまとの風」で素敵な出会いを経験してみませんか。

■発行/偶数月発行 年6回 ■郵送料として/1,500円(郵便切手をお願いします。) ■お申し込みは/〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報誌「くまとの風」係



お便り募集

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を200~400字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風テレホンカード」をプレゼント)

●あて先
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1 熊本県広報誌「くまとの風」係 ☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。

05	総 広
③	002-2

熊本県広報誌「くまとの風」124号

平成5年8月1日発行(年6回・偶数月1日発行)

企画・監修・発行/〒862 熊本県広報誌・熊本市水前寺6丁目18番1号 ☎(096)383-1111

企画・構成・印刷/株式会社印刷所 編集・取材/有スタジオ談 制作/ユニガム